SG 報告会

# 中学・高校の数学教育 Study Group

代表　白石和夫（文教大学）
E-mail：shiraish@koshigaya.bunkyo.ac.jp

## 1. 活動報告

2011 年 1 月 8 日（土）

研究会開催。中・高数学教育における研究課題について，協議を持った。

2011 年 12 月 4 日（日）

高校教員中心の研究グループとの合同研究会開催。

2012 年 2 月 12 日（日）

中高数学に関するアンケート調査の集計結果について協議した。

## 2. 活動の成果

中高数学教育に関するアンケート調査を実施した。本学会の会員となっている中・高教員が考えていることを知り，今後の活動の方向性を定めることが目的である。

調査開始前には，各学年，あるいは各科目での学習内容が生徒に理解されにくい領域が指導しにくい領域として浮かび上がってくると期待していたのであるが，必ずしもそうとも言えない結果となった。

教員養成の課題についても調査した。今後の研究において示唆の多いコメントを多くえることができた。

## 3. 当面の活動計画

アンケート結果の分析を進め，中・高数学教育における課題をさぐっていきたい。

## 4. 今後の課題

中・高等学校の数学教育は，ここ数十年にわたり内容の増減はあるものの，実質的な変化はほとんどない。現行カリキュラムは技能の習熟の観点からはよくできているように思えるが，学ぶ内容の必然性を生徒に理解させることが難しい。知識基盤社会への対応を考えると現在の指導系統は見直しを迫られることは必定である。その際，小，中，高，大の間で校種を超えた連携が必要になる。

しかし，本 SG の研究集会は，毎回の参加者が２～３名程度であり，研究態勢として貧弱である。新たな参加者を募り，次世代につないでいくことが求められている。